

先輩から贈る新入生への 図書館活用アドバイス



大学生活と図書館

政治経済学部経済学科4年 増田 慧一

私は図書館がなければゼミナール活動ができなかったと断言できるほど図書館を活用しました。ゼミでの発表が最低でも月に一回はあるのでその準備のために図書館に通い、専門書をあさりました。大学の図書館には専門性の高い図書や資料が膨大にあります。発表のテーマは歴史や現代のことなど様々な事柄に及びましたが、すべて大学の図書館で用が足りました。逆に専門書の数が多すぎて選ぶのに苦労したほどです。

大学での勉強は個人とするもの以外にも、ゼミナールをはじめグループ単位で研究するものがあります。私はゼミでディベートの勉強を行いました。そんな際に、図書館にはグループ閲覧室と呼ばれるグループ単位で勉強するスペースが用意されています。グループ閲覧室には議論が進展しやすいようにホワイトボードがあり、コンピュータが大画面につながっていて全員が一度に情報を共有できるようになっていました。

このようにグループ学習ができる環境でゼミ仲間と一緒に学び、作業を効率よく進めることができました。

大学生活を振り返ると図書館が大きな存在であったことは間違いありません。専門性が高い資料を使え、効率よく作業しやすい環境が整っていて、さらには図書館職員の皆さんのサポートもあり、これらが勉強しようという気持ちを後押ししてくれました。

みなさんも図書館を上手く利用して充実した大学生活を送ってください。



大学図書館を使おう!

農学部農業経済学科3年 中津詩織

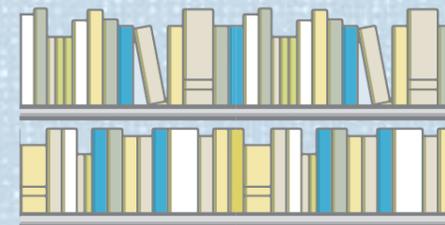
新入生の皆さんはこれまで図書館をどのように利用してきましたか? 私自身の小中高時代を思い返すと、図書館は読書をするための場所であり、受験や試験を控えた時期は自習室として利用していました。大学図書館でもその利用法はもちろん同様ですが、これまでと違い学生生活の中ではレポートの作成、専攻分野を深めるためなど、自ずと専門的な知識が必要になります。そのような中で私たちの頼りになるのが大学図書館という存在です。

明治大学の図書館にはOPACという蔵書検索システムがあり、24時間いつでもどこでも読みたい本を探ることができます。そのように膨大な蔵書の中から簡単に希望の本を見つけられることも大きな利点ですが、図書館は自分の専攻以外の分野にも視野を広げることのできる貴重な場でもあります。私の利用している生田図書館は主に理工学部と農学部を利用対象

にしているため、自然科学を中心とした蔵書構成になっています。そのような図書館の中を様々なタイトルの本を眺めながら歩いていると、これまで身近に感じていなかった分野に興味を持つ「新たな自分」を発見することができます。これほど幅広いジャンルを扱う図書館を存分に利用することができるのは、大学生ならではです。様々な本を見て、興味を持ち、読んで、たくさんの知識を吸収してください。図書館をうまく活用すれば、これからの大学生活はより充実したものになるはずです。



図書館活用法 履修のおすすめ



「図書館活用法」とは?

学部の枠を超えて様々な講座が開設されている「学部間共通総合講座」の中に「図書館活用法」という科目があります。この科目は明治大学図書館の基本的な話から、データベース検索のテクニック、および検索結果を読み取るスキルを身に付けて、皆さんに図書館の蔵書を使いこなせるようになってもらうことを目的としています。

明治大学図書館は220万冊を超える図書、2万3千種類の雑誌、国内外の様々な外部データベース、電子ジャーナル、CD-ROMなどの膨大な学術資料を収蔵しています。授業やゼミのレポート、あるいは論文を書くときには、これらの学術資料が大いに役立ちます。そして、膨大な資料の中からより迅速に、より効率的に自分が必要とする資料を入手し、適切に利用するためには、「図書館活用法」で得た知識やスキルが心強い味方になります。授業では技術的なスキルアップだけでなく、実際にレポートや論文の作成法や、

インターネットを介した電子情報の特性や問題点、図書の歴史、図書館と著作権といった幅広いテーマについて講義します。

有意義な学生生活を送るためには、図書館を上手に利用して身近な場所にすることが大切です。「図書館活用法」の履修がそのきっかけになるでしょう。

授業スケジュールや詳しい内容については「学部間共通総合講座」のシラバスや図書館のホームページにもありますのでご覧ください。



館内ツアーガイド

図書館案内ツアーあります!

各キャンパスの図書館では4月から5月にかけて館内のツアーを行っています。

フリーツアー

どなたでも自由に参加できます。所要時間約30分で、図書館の施設案内と利用方法を紹介します。各キャンパスで開催日程が異なりますので、図書館ホームページおよび掲示でお知らせします。

ゼミツアー (事前申込制)

ゼミ単位の参加で、目的に応じて案内をします。ゼミのテーマに関連した図書の配架案内、検索パソコンやデータベースの説明を行います。自分のゼミがこれに参加しているかどうかは、担当の教員にご相談ください。